

つたえよう ありがとうの気持ち はばたこう 未来へ

ねらい これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとする態度を養う。

児童の意識の流れ	各教科・領域と道徳科との関連	時期
① 頑張っている友達のように、自分も頑張ることができることを増やしていきたいな。	① 帰りの会「今日のキラキラ」 【特別活動における道徳教育の視点】 友達の頑張りや良さを見付けたり、自分の頑張りを認めたりすることができる。	1月
② 以前と比べて、体も大きくなったけど、できるようになったことも増えてきたね。	②生活科「あしたへジャンプ～大きくなった自分のことをふりかえろう～」 【生活科における道徳教育の視点】 これまでの学習や生活を振り返り、自分自身の成長や変容について考える活動を通して、自分の良さや可能性に気付く。	
③ 自分の頑張りや成長は、自分だけでなく、支えてくれた人も喜んでくれていたんだね。	③生活科「あしたへジャンプ～大きくなった自分のことをしらべよう～」 【生活科における道徳教育の視点】 身近な人々に、大きくなった自分のことについて、インタビューする活動を通して、身近な人々の思いを知り、多くの人に支えられて成長してきたことに気付く。	
④ 家族は自分の誕生を喜んでくれ、たくさんの人に愛されて成長してきたんだね。これからも命を大切にしていこう。	④特別の教科 道徳「たんじょう日」 D（17）【生命の尊さ】 【本時】 なつこが誕生したときの話を お母さんから聞いたなつこの心情を考えることを通して、多くの人に支えられ、守られている自分の命を大切にしようとする心情を育む。	2月
⑤ たくさんの人にお世話になって、大きくなってきたんだね。できるようになったことや成長した姿を見てもらいたいな。	⑤生活科「あしたへジャンプ～大きくなった自分のことをまとめよう～」 【生活科における道徳教育の視点】 これまでに振り返ったり調べたりしたことを作品にまとめるとともに、成長を支えてくれた人に対する感謝の気持ちを持ち、更なる成長を願おうとする心情を育む。	
⑥ 自分の夢や希望をかなえるために、諦めずに努力していこう。	⑥特別の教科 道徳「ぼくは「のび太」でした」 A（5）【希望と勇気、努力と強い意志】 「子どもの頃、ぼくは『のび太』でした。」という言葉に、藤子・F・不二雄先生のどんな思いが込められているかを考えることを通して、何事にも粘り強く努力して、一生懸命にやりぬこうとする実践意欲を高める。	
⑦ 今まで成長を支えてくれてありがとう。これからも頑張ります。よろしくね。	⑦生活科「あしたへジャンプ～ありがとうはっぴょう会をひらこう～」 【生活科における道徳教育の視点】 自分達の成長を支えてくれた人に感謝の気持ちを持ち、その気持ちを伝えるために、発表会を開き、自分たちの成長した姿を見せることができる。	3月

家ぞくへの かんしゃの気持ちを たいせつに  
これからも せい長して いきたい。